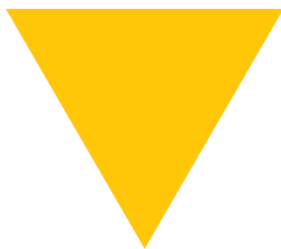


PRESS RELEASE

発行元 | NPO法人 越後妻有里山協働機構

発行日 | 2023/11/20



「大地の芸術祭 25周年感謝の集い！ 第9回展企画発表会」開催のご報告、 および第9回展第1弾作家発表



7月から開幕する「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2024」。その企画発表と同時に、来年で25周年を迎えるにあたり、これまで支えてくださった方々への感謝を伝える場として、11/19に、大地の芸術祭実行委員会、NPO法人越後妻有里山協働機構、株式会社アートフロントギャラリーが「大地の芸術祭 25周年感謝の集い！ 第9回展企画発表会」を開催しました。そのご報告に加え、新作作家、注目作品、作品鑑賞パスポートについてご案内します。

何卒ご取材・ご掲載のご協力のほど宜しくお願いいたします。

HIGHLIGHTS/INDEX

- ▶ 11/19「大地の芸術祭 25周年感謝の集い！ 第9回展企画発表会」約400人参加
- ▶ 「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2024」新作作家 第1弾
(別資料添付 ※11/19時点)
- ▶ 2024年の注目の作品群 (抜粋)
- ▶ 田中泯「雪の良寛」鑑賞付き2024パスポート、およびツアー販売開始

「大地の芸術祭 25周年感謝の集い！ 第9回展企画発表会」約400人参加

11/19に代官山ヒルサイドプラザ、ヒルサイドバンケットにて、「大地の芸術祭 25周年の集い！ 第9回展企画発表会」を開催しました。1部を企画発表会、2部を感謝の集い、3部をこへび隊集会とし、作家、新旧こへび隊、美術関係者、報道関係者、大使館関係者、企業関係者、旅行関係者の方々、そのほか妻有をこれまで支えてくださった皆さまをお招きしました。



実行委員長 関口芳史



総合プロデューサー 福武總一郎



総合ディレクター 北川フラム

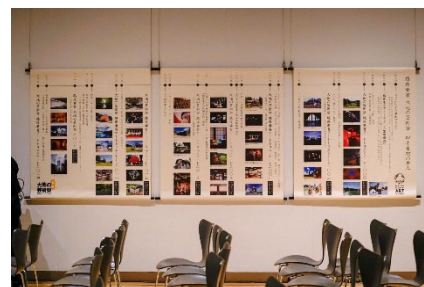
プロジェクトが始まった94年から現在まで、関わっていただいた方は数千人にもものぼります。当日は約400人が参加し、懐かしい面々とも再会でき同窓会のような賑わいとなりました。十日町市・津南町のお母さんたちも駆けつけ、新米おにぎりや豚汁、煮物、漬物、TSUMARI BURGERなどを振る舞い、地元からも感謝の意を伝えました。



「うぶすなの家」のお母さん方



巻上公一によるパフォーマンス



芸術祭年表（1994～2024年）

25年の歴史の中で幾度と起きるピンチやターニングポイント。その際に起こる様々な出来事。その出来事は人から人へと、文書ではなく口伝えで伝えられてきました。また、そのターニングポイントや事件に立ち会った人たちが必ず存在しました。第2部では、その事件の当事者の声を集めたインタビュー映像を観ながら、彼らの声を北川ディレクターにぶつけました。その9人のインタビューをもとに、「大地の芸術祭とはなんだったのか？」を解き明かすと同時に、25年にわたり、表で陰で支えていただいた数多くの方々への顕彰の場になれたらという想いで実施しました。



これまで支えてくださった皆様への感謝と、来年への決意が伝わったのであれば嬉しいです。

「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2024」新作作家 第1弾

(別資料添付) ※2023/11/19時点

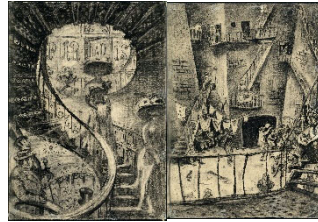
2024年の注目の作品群 (抜粋)

【十日町エリア】

▼越後妻有里山現代美術館MonET



ターニャ・バダニナ
「白い服」



イリヤ・カバコフ
「知られざるカバコフ 生きのびるためのアート」
(上図: ショレム・アレイヘム「さまよえる」挿画)

【中里エリア】

▼清田山



ダダン・クリスタント
「カクラ・クルクル・アット・ツマリ」新展開

【川西エリア】

▼ナカゴグリーンパーク



「Nakago Green Land—どうぶつたちの息吹と再生(仮)」
左) 早川鉄兵 (写真: 「動物の丘」 希望ヶ丘文化公園2016)
中央) 中村正 (山羊のメリーさん) (写真: 個展「山羊のメリーさん カーテン島の冒険」 TEGAMISHA GALLERY Soel 2021)
右) 島田忠幸 (写真: 「目指せ13m」 雨引きの里2022)

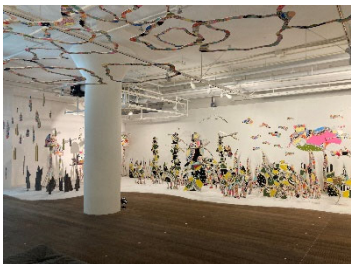
▼旧高倉小学校



カ五山+加藤力・渡辺五大・山崎真一
「時の回廊 十日町高倉博物館」

【松代エリア】

▼奴奈川キャンパス



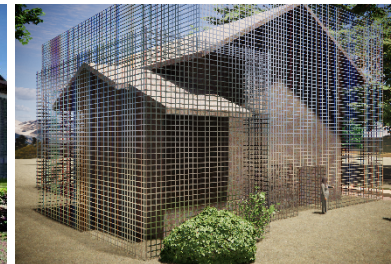
松本秋則+松本倫子
「惑星トラリスin奴奈川キャンパス(仮)」
(写真: 「惑星トラリス」 BankART KAIKO2023)

▼中国ハウス



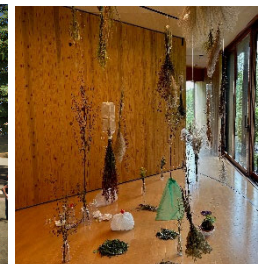
マ・ヤンソン/MAD アーキテクト
「野泡泡(仮)」

▼湯山の家



アイシャ・エルクメン
「in and out」

▼オーストラリア・ハウス



ローレン・バーコヴィッツ
「Residual Matter(仮)」

【津南エリア】

▼旧津南小学校大赤沢分校



「秋山郷 大赤沢分校プロジェクト(仮)」
深澤孝史、佐藤研吾、山本浩二、松尾高弘、
井上唯、内田聖良、永沢碧衣

▼越後妻有「上郷クローブ座」



白井美穂
「太陽の移ろい」

※すべてイメージ画像

田中泯「雪の良寛」鑑賞付き2024パスポート、 およびツアー販売開始

▼田中泯「雪の良寛」

「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2024」
(7/13~11/10) に先駆け、この冬、田中泯による雪上パ
フォーマンス「雪の良寛」を開催します。

日時 2024/2/23 (金祝)
会場 ナカゴグリーンパーク



越後妻有の本番は冬。越後の精神は、半年間すべてを覆いつくす雪の中の暮らしにこそ表れてい
ます。白一色の世界のなかで、子どもと遊び、春を待つ良寛は、越後の冬を体現している宗教者
です。世界的ダンサー・俳優の田中泯が圧倒的な雪の中で良寛を踊ります。



左) 引換券/右) 実券

▼作品鑑賞パスポート

「雪の良寛」、およびトリエンナーレ2024会期中の作
品鑑賞ができる特別なパスポートを、11/19よりオン
ライン(アソビュー!)と現地にて販売中です。ふる
さと納税の返礼品としても取り扱っています。3/1か
らは、トリエンナーレ2024の会期中に使える作品鑑賞
パスポート(前売料金)も発売します。

区分	田中泯「雪の良寛」 鑑賞付き	前売料金	通常料金
一般	4,500円	3,500円	4,500円
小中高	2,000円	1,000円	2,000円
小学生未満		無料	
販売期間	11/19~ 定員になり次第終了	3/1~7/12	7/13~11/10

▼「雪の良寛」鑑賞付きパスポート+雪見御膳ツアー

2/23は自家用車乗り入れ不可のため、送迎バスを運行します。お
すすめなのが、地域のお母さんたちが料理をふるまう「雪見御膳」
付き日帰りツアー。越後湯沢駅発着のガイド&ランチ付きで、雪が
不安な方にもおすすめです。11/19より同時発売中!



取材のお申込み・お問い合わせ

NPO法人 越後妻有里山協働機構 広報担当: 山口、丸尾、渡邊
新潟県十日町市本町六の一丁目71-26 クロステン4階 第七会議室
TEL 025-761-7749 FAX 025-761-7911 E-Mail info@tsumari-artfield.com